

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	まちなみ再生事業				事業番号	017-006	
担当部署名	建築都市局	局	都市計画部	部	都市景観課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(2)環濠エリア・堺旧港の魅力の創出
			有	取組の方向性	②歴史的なまちなみ再生・歴史的建築物の保全		
		寄与するKPI	有・無	指標名	環濠エリアへの来訪者数		
			有	現状値	182.6万人(2019年度)	目標値	300.0万人(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	観光客の受け入れ環境の整備推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	堺市景観計画、堺市歴史的風致維持向上計画		
3	事業開始年度	平成 24 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	—		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	環濠エリアのうち、特に町家が多く残る北部地区の歴史的なまちなみ				対象数	単位
						43	ha
7	事業の目的	町家歴史館（鉄炮鍛冶屋敷、山口家住宅及び清学院）をはじめとする町家や、本願寺堺別院といった多くの寺社が立地し、歴史的風致が残る環濠エリア北部地区において、歴史文化を生かしたまちなみの再生を図ることにより、堺の魅力向上を図る。					
8	事業内容	“歴史的なまちなみ再生”に向けて国の「街なみ環境整備事業」を活用し、堺市街なみ環境整備事業計画に基づいた町家の外観修景や道路の美装化等に向けた取組により、まちなみの再生を図る。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	—					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	修景施設整備補助件数	件	目標値	3	1	—	1
			実績値	3	0		
			達成率	100%	0%		
	当該指標を選定した理由	修景施設整備が進むことにより、歴史的なまちなみの再生につながる					
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度の事前相談者数より設定					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	歴史的なまちなみ勉強会等の開催数	件	目標値	—	3	2	
			実績値	4	13		
			達成率	—	433%		
	当該指標を選定した理由	勉強会等の開催により、地域の機運醸成につながる					
	目標値の設定根拠・算出方法	まちなみ再生に向けた取組として、勉強会等を年2回開催する目標設定					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	まちなみ再生事業	事業番号	017-006
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	18,660	8,521	8,162	1,757	574
	財 源					
	国支出金	9,309	4,250	3,000	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	9,720	8,910	13,860	14,280	13,920
	年間経費（c）=(a)+(b)	28,380	17,431	22,022	16,037	14,494

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	街なみ環境整備事業建物等修景補助金	決算	0	0		決算				
		予算	0	0		予算				
	消耗品費等	決算	103	103		決算				
		予算	94	94		予算				
	通信運搬費	決算	24	24		決算				
		予算	462	462		予算				
	会場借上料	決算	2	2		決算				
		予算	18	18		予算				
	まちなみ再生調査業務等委託	決算	1,628	1,628		決算				
		予算	0	0		予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	①	修景施設整備補助件数	件	3	0
	②	上記①にかかる年間経費	千円	13,188	6,058
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	4,396,000	—
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	修景補助事業としては、適宜、事業者との円滑な調整を図りながら進めている。 修景補助件数については、事業者と調整を図りながら取組を進めたが、建設費の高騰等、社会情勢の影響により、目標の件数を実施することができなかった。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	歴史的なまちなみを保全するにあたり、国の「街なみ環境整備事業」による補助金を活用し、市の負担を抑えつつ、周辺の歴史的なまちなみとの調和に配慮した修景整備を促進し、地域の意識醸成につなげることで、堺環濠都市北部地区の歴史的なまちなみ再生及び保全に寄与している。 また、環濠エリアの来訪者数の増加に向けて、周辺の歴史的なまちなみとの調和に配慮した修景整備は、他部局の事業とともに観光客の受け入れ環境の向上に寄与している。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	令和3年度以降、周知啓発や勉強会の実施により、歴史的なまちなみの再生・保全に対する地域の機運醸成、修景整備の推進につながる基盤は形成されている。一方で、昨今の社会情勢の影響もあり、修景施設整備補助の実績が伸び悩んでいる状況である。
	有効性	■ 高い □ 低い	歴史的なまちなみの再生・保全は環濠エリアの魅力向上や来訪者増加にも寄与するものであるが、短期的に成果が現れるものではなく、継続的な関与が不可欠であることから、修景補助事業や周知啓発の取組は今後も必要性が高いと判断する。